

釧路湿原自然再生協議会再生普及小委員会

第14回 湿原学習のための学校支援ワーキンググループ

日時： 令和4年1月7日（金） 14：00～15：30

場所： オンラインにて実施

----- 議事次第 -----

1. 開 会
2. 議 事
 - 1) ワーキンググループの取組報告
3. その他
4. 閉 会

----- 配布資料一覧 -----

- 第13回湿原学習のための学校支援ワーキンググループ 資料
- ・ 資料1 ワーキンググループの取組報告

出席者名簿(敬称略・順不同)

< 専門家 >

所属等	氏 名
再生普及小委員会委員長	高橋 忠一 ○
北海道教育大学釧路校 教授	境 智洋 ○

< 学校教員 >

所属等	出席者
釧路市立中央小学校	前田 進太郎
釧路市立新陽小学校	柴田 康吉
釧路市立芦野小学校	木村 浩二
釧路町立別保小学校	佐藤 祐紀 ○
標茶町立標茶小学校	畠山 泰將 ○
鶴居村立幌呂中学校	長谷 泰昌 ○
釧路湖陵高等学校	池田 耕

< 学校教育行政機関等 >

機 関 名	出席者
北海道教育庁釧路教育局 教育支援課 社会教育指導班	主査 河村 武司 ○
釧路市教育委員会 学校教育部 教育支援課	指導主事 関本 裕介 ○
釧路町教育委員会 教育部 指導主事室	室長 國井 彩子 ○
標茶町教育委員会 指導室	指導室長 秋山 豊 ○
弟子屈町教育委員会 指導室	指導室長 辻川 智宏
鶴居村教育委員会 管理課 学校教育係	係長 清野 玲子
釧路湿原国立公園連絡協議会	事務局次長 元岡 直子 ○
	事務局員 松橋 由希 ○
環境省北海道地方環境事務所 釧路自然環境事務所	環境専門員 中村 隆之助 ○

< 事務局 >

機 関 名	出席者
環境省北海道地方環境事務所 釧路自然環境事務所	自然保護官 瀧口 さやか ○
公益財団法人北海道環境財団	環境教育課長 山本 泰志 ○
	環境教育課 安田 智子 ○

ワーキンググループの取組報告

今年度、フィールド学習コーディネイト 8 件、授業支援 4 件、教員研修 2 件を実施した。
(R4.1.7 時点)

実施日		対象	実施場所	内容
5 月	14 日	標茶町立標茶小学校 5 年生教員	達古武湖、周辺フィールド	コーディネ
7 月	5 日	釧路町立別保小学校教員	細岡展望地、周辺フィールド	コーディネ
	6 日	標茶町立標茶小学校 5 年生	達古武湖、周辺フィールド	コーディネ
	12 日	釧路町立別保小学校 5 年生	細岡展望地、周辺フィールド	コーディネ
	16 日	学校教員等	釧路市動物園	研修講座
8 月	24 日	釧路町立富原小学校 4 年生	釧路湿原野生生物保護センター	支援
	27 日	釧路市立中央小学校 5 年生	温根内木道	コーディネ
10 月	14 日	標茶町立標茶小学校 5 年生	達古武湖、周辺フィールド	コーディネ
	15 日	釧路市立中央小学校 5 年生	温根内木道	コーディネ
	18 日	鶴居村立幌呂中学校 1, 2 年生	釧路湿原右岸堤防沿いの湿原	コーディネ
	26 日	鶴居村立幌呂中学校 1 年生	温根内周辺フィールド	支援
	29 日	釧路町立別保小学校 5 年生	釧路町立別保小学校	支援
12 月	8 日	釧路町立別保小学校 5 年生	別保小学校およびオンライン	支援
1 月	7 日	学校教員等	釧路湿原右岸堤防沿いの湿原	研修講座

注記) 上記「内容」中の記号は以下を表す

コーディネ：フィールド学習コーディネイト、支援：授業支援

森林再生小委員会事務局として環境省釧路自然環境事務所において、釧路湖陵高等学校を対象とした以下の取組を実施した。

実施日		対象	実施場所	内容
6 月	22 日	理数科 1 年生	釧路湖陵高等学校	講義
	23 日	理数科 1 年生 代表生徒 8 名	達古武湖、周辺フィールド	指導
7 月	2 日	理数科 1 年生 宮城県多賀城高校 1 年生 3 名	達古武湖、周辺フィールド	指導

湿原再生小委員会事務局として国土交通省釧路開発建設部において、以下の取組を実施した。

実施日		対象	実施場所	内容
7 月	16 日	阿寒高校 1, 2 年生	幌呂地区湿原再生事業地	指導
	31 日	つるいっ子の体験活動グループ	幌呂地区湿原再生事業地	指導

第13回ワーキンググループ会合（R3.8）以降の取組み詳細は以下のとおり

1. 湿原を題材とした学習素材の収集、活用の促進

○映像資料等のとりまとめ、連携校への提供

湿原を題材とした学習に取り組む学校を主な対象として映像資料をとりまとめ、授業での活用促進を図る。

【標茶小学校に提供】

- 達古武湖に繁茂するヒシ（実物）
- 採集風景を編集した映像資料



【別保小学校に提供】

- 夢ヶ丘遊歩道沿いの湧き水（実物）
- 達古武湖、塘路湖の水（実物）
- 採水風景を編集した映像資料



※今年度作成した映像資料をWEBサイトにとりまとめ、活用の促進を図る。

2. 自然再生の学校教育への活用促進

自然再生事業が行われているフィールドを活用した授業づくりの支援を行った。

○達古武湖自然再生事業地の活用

・標茶町立標茶小学校

➤ フィールド学習（2回目）

実施日時：令和3年10月14日 9:40～11:50

実施場所：夢ヶ丘遊歩道、達古武湖（湖畔）

対象：5年生 50名

主な内容：各児童の学習テーマを踏まえたフィールドでの活動



3. 学校教員の関心喚起、湿原の教育的な価値の普及

○教員研修講座の実施

- ・体感！釧路湿原～植物群落と水の関係から湿原のしくみを学ぶ

実施日時：令和3年1月7日 9:00～12:00

実施場所：釧路湿原右岸堤防沿いの湿原

講師：新庄 久志 氏

(釧路国際ウェットランドセンター技術委員長)

参加者：9名

内容：湿地林・林床の観察と各植物に係るレクチャー、各植物群落での水質の簡易調査、観察された植物群落と水との関係性についての講話

○授業支援の実施

- ・釧路町立富原小学校

実施日時：令和3年8月24日 9:30～12:00

対象：4年生 60名

内容：釧路湿原野生生物保護センター施設見学対応



- ・鶴居村立幌呂中学校

実施日時：令和3年10月26日 9:00～10:45

対象：1年生 1名

内容：総合学習における現地調査同行、助言（温根内周辺の外来植物に関する説明、防除の実践）

○釧路湿原流域環境を題材とした学びのプロセスの支援、実践等の発表の場作り

年間を通した授業づくりの支援を行うとともに、学校、施設等と連携し、児童の取り組みを地域に発信する場づくりを行う。

- ・フィールド学習のコーディネート

自然再生事業地や釧路湿原を活用したフィールド学習のコーディネートを行った。

➤ 釧路市立中央小学校 5年生

フィールド学習（1回目）

実施日時：令和3年8月27日 9:15～11:50

実施場所：温根内木道

対象：5年生 18名

主な内容：フィールドで出会う多様な事象の観察



フィールド学習（2回目）

実施日時：令和3年10月15日 9:15～11:50

実施場所：温根内木道

対象：5年生 17名

案 内：温根内ビジターセンター藤原指導員
主な内容：やちまなこ、湿原植生の観察、タンチョウ等の
湿原に生息する生き物に係る解説



- 標茶町立標茶小学校 5 年生
- ※) 2. 自然再生の学校教育への活用促進を参照

- 鶴居村立幌呂中学校 1, 2 年生
実施日時：令和 3 年 10 月 18 日 9:50~12:10
実施場所：釧路湿原右岸堤防沿いの湿原
対 象：1, 2 年生 9 名
案 内：新庄 久志
(釧路国際ウェットランドセンター技術委員長)
主な内容：簡易調査を行いながら湿原を散策。水環境や
土砂の流入状況に応じて変化していく植生の成立要因を考察。



- ・フィールド学習後のフォローアップ
児童の学習テーマ、担任教諭からの要望を踏まえて、フィールドでの試料等の採集、映像資料の提供、生徒の課題や疑問に対する助言等を行った。

※) 映像資料等については、1. 湿原を題材とした学習素材の収集、活用の促進を参照

- 釧路町立別保小学校 5 年生
実施日時：令和 3 年 10 月 29 日 13:20~14:05
実施場所：釧路町立別保小学校
対 象：5 年生 20 名
主な内容：映像資料の補足説明、児童の疑問に対する助言

- ・発表会のコーディネイト、とりまとめにあたっての助言
研究発表ボードを活用し、探求的な学習に取り組む学校を対象に、中間発表会や学習発表会等のコーディネイトを行った。

- 釧路町立別保小学校 5 年生 中間発表会 【学校訪問・オンライン併用】
実施日時：令和 3 年 12 月 8 日 10:30~12:05
学校訪問：境教授（北海道教育大学）、和田専門員・松橋
主事（釧路市環境保全課）、川尻氏（太平洋総合コンサルタント株式会社）、瀧口自然保護官
（環境省釧路湿原自然保護官事務所）、安田・
山本（北海道環境財団）
オンライン参加：加藤（北海道環境財団）



概 要：3 教室に分かれて行われた各発表に対する助言、質疑対応を行った後、境教授より総括のコメント。

※釧路市立中央小学校、釧路町立別保小学校、標茶町立標茶小学校での学習発表会のコーディネートを実施する。

- ・学外での発表会の企画

※学外での研究発表ボードの展示会「釧路湿原サイエンスフェア」、口頭発表会の企画調整を行う。